

大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行元

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部
〒560-0043 豊中市待兼山町1-16 豊中キャンパス
全学教育総合棟Ⅱ4階417
<http://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/>



大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部

2021年度

4月～9月

大阪大学教員の皆様へ

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大により私たちの日常生活は一変しましたが、本学では、教育・研究活動への影響を最小限とするため、できるだけ平常時に近い状態で大学活動を行えるよう対応を進めてきました。また、学生の学びを止めることのないよう円滑な授業実施を実現するため、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策やメディア授業の準備など例年以上の対応にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

このような状況の中では、これまで以上に高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことが重要であると考えています。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取組によって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。また、コロナ新時代に対応したプログラムも多数開催されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと思います。

概要

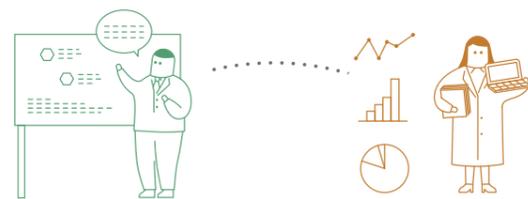
大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力

開発プログラム

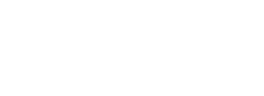
教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム（CLE）の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



研究能力

開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。



マネジメント能力

開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。



社会学連携能力

開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

OSAKA UNIVERSITY FACULTY DEVELOPMENT PROGRAMS

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD（ファカルティ・ディベロップメント）に積極的に取り組んできました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

ウィズコロナの時代を迎えて、大学の在り方も大きく変わろうとしています。本学では、教職員及び学生の安心・安全及び教育・研究の質の確保を最優先として様々な取組を行っています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部局が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2021年前期のFD研修でも多岐にわたるプログラムが開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長（教育担当）
田中敏宏

大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（旧：教育学習支援センター）では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。受講者は大阪大学CLEにおいて受講時間数（FDポイント）と、受講時間数によって色が変わるFDバッジを確認することができます。また、30時間受講された新任教員の皆様には、年に一度秋頃に修了証明書を発行してご所属の部局に送付します。なお、新任教員以外の方で30時間受講された場合や、新任教員を含め60時間以上受講された場合は、受講者の申し出に応じて修了証明書を発行します（上限120時間）。

FDバッジの確認方法



1. CLEに阪大IDでログインする。
2. コミュニティから「教育学習支援コモンズ（TLSC）FD」をクリックする。
3. 左側の「FDバッジの確認」をクリックする。

FDバッジの種類



研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは以下の通り各プログラムを受講してください。

- ▶ 教育能力 開発プログラム 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム あわせて6時間以上

新制度

「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム（大学院生を対象とした教育能力開発プログラム）を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部局の事務にお問合せください。

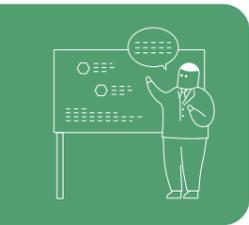
研修プログラム一覧〈令和3年度上期(2021.4～2021.9)開催分〉

カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
4月									
教育	P.6	—	オンラインビデオ教材作成法(Echo 編)	オンライン	4月3日 13:30-15:00	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	○	理学教育カリキュラム反省会	豊中	4月7日 13:30-16:00	2.5	150名	日本語	理学研究科
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	4月9日 15:10-16:40	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	—	オンラインビデオ教材作成法(初級編)	オンライン	4月15日 13:30-15:00	1.5	50名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
研究	P.13	○	総合解析センター説明会(機器分析講習会)	吹田	4月 13:45-16:45	3	50名	日本語	産業科学研究所
マネジメント	P.17	—	新入教職員安全衛生講習会	オンライン	4月頃	2.25	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.17	○	産研安全講習会 (午前:バイオセーフティー講習会、午後:安全講習会)	吹田	4月下旬 または5月上旬	4	50名	日本語/ English	産業科学研究所
5月									
教育	P.6	—	アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン	オンライン	5月6日 13:30-15:00	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	—	外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法	オンライン	5月10日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	国際教育交流センター、 キャリアセンター
教育	P.7	—	ブレンドド授業の設計法	オンライン	5月11日 12:15-13:15	1	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	—	ブレンドド授業の設計法	オンライン	5月13日 12:15-13:15	1	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.7	—	オンラインビデオ教材作成法(中級編)	オンライン	5月13日 13:30-15:00	1.5	25名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	—	グループ学習を授業に導入する	オンライン	5月20日 15:10-16:40	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
社会学連携	P.16	—	「オンライン市民参加型イベント」運営の技法	オンライン	5月25日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	CO デザインセンター
教育	P.8	—	学生の心理	オンライン	5月27日 10:30-12:00	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ 健康支援センター
マネジメント	P.17	—	大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について	オンライン	5月中旬～下旬	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	実験系廃液・排水の取扱い	オンライン	5月中旬～下旬	0.83	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	非化学系のための化学薬品取扱講習	オンライン	5月中旬～下旬	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	詳解:化学物質安全取扱講習	オンライン	5月中旬～下旬	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習(低温センター吹田分室編)	オンライン	5月中旬～下旬	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.18	—	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習(低温センター豊中分室編)	オンライン	5月中旬～下旬	1.5	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習	オンライン	5月中旬～下旬	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	—	電気コンセントと電気配線の安全講習	オンライン	5月中旬～下旬	1	未設定	日本語	安全衛生管理部
マネジメント	P.19	○	蛋白研安全講習会	吹田又は オンライン	5月頃 (日程未定)	1	150名	日本語	蛋白質研究所
6月									
教育	P.8	—	オンライン教材をつかった研究倫理教授法入門	オンライン	6月9日 11:30-13:30	2	20名	日本語	CO デザインセンター
社会学連携	P.16	—	阪大ブランドの発信地としての大学博物館	豊中	6月11日 15:10-16:40	1.5	15名	日本語	総合学術博物館
マネジメント	P.19	—	令和3年度大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	吹田	6月15日	3	未設定	日本語	総務部人事課職員係
教育	P.8	○	研究室不登校の学生へのアプローチ	吹田	6月17日 13:30-15:00	1.5	15名	日本語	工学研究科
教育	P.8	○	研究室不登校の学生へのアプローチ	オンライン	6月17日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	工学研究科
教育	P.9	—	プロジェクトに基づく学際共創科目のデザインとその活用	オンライン	6月23日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	CO デザインセンター
社会学連携	P.16	—	研究成果を発信する方法-研究広報、日本と海外の比較-	オンライン	6月24日 15:00-16:30	1.5	90名	日本語	免疫学フロンティア研究センター
マネジメント	P.20	○	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	豊中又は オンライン	6月下旬～ 7月上旬頃	1	未設定	日本語	理学研究科
7月									
マネジメント	P.20	○	ハラスメント防止セミナー(加害者とされないために編)	吹田	7月7日 13:30-15:00	1.5	15名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.20	○	ハラスメント防止セミナー(加害者とされないために編)	オンライン	7月7日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	工学研究科
研究	P.13	—	研究室の教育指導	オンライン	7月8日 15:00-17:00	2	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.9	—	ブレンドド授業の評価	オンライン	7月13日 12:15-13:15	1	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.20	○	ハラスメント防止セミナー(被害者・傍観者とならないために編)	吹田	7月14日 13:30-15:00	1.5	15名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.20	○	ハラスメント防止セミナー(被害者・傍観者とならないために編)	オンライン	7月14日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	工学研究科

※掲載内容は2月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。



カテゴリ	掲載ページ	対象者の限定	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	場所	日時	時間数	募集定員	使用言語	開催部局
7月									
研究	P.13	—	研究室の教育指導	オンライン	7月14日 15:00-17:00	2	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.9	—	ブレンドド授業の評価	オンライン	7月15日 12:15-13:15	1	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
マネジメント	P.20	—	未定[障がい者に関するテーマで講演いただく予定]	吹田又は オンライン	7月上旬 (日時未定)	2	対面の場合 100名	日本語	人権問題委員会
8月									
教育	P.9	○	自殺防止セミナー	吹田	8月4日 13:30-15:00	1.5	15名	日本語	工学研究科
教育	P.9	○	自殺防止セミナー	オンライン	8月4日 13:30-15:00	1.5	20名	日本語	工学研究科
教育	P.9	—	シラバスの書き方	オンライン	8月23日 13:30-15:00	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.8	—	グループ学習を授業に導入する	オンライン	8月25日 14:30-16:00	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.6	—	オンラインビデオ教材作成法(Echo 編)	オンライン	8月26日 13:30-15:00	1.5	未設定	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.10	—	授業づくりワークショップ	オンライン	8月30日～31日 各日 10:00-18:00	計20	4～16名	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
9月									
教育	P.10	—	大学におけるカルト問題	オンライン	9月2日 13:30-15:00	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ 健康支援センター
教育	P.10	—	学生の不適応	オンライン	9月9日 10:30-12:00	1.5	40名	日本語	キャンパスライフ 健康支援センター
教育	P.11	—	障がい学生支援	オンライン	9月16日 12:00-13:30	1.5	100名	日本語	キャンパスライフ 健康支援センター
研究	P.13	—	産学共創により研究成果を社会実装するには!	オンライン	9月21日、28日 各日 16:00-18:00	計4	100名	日本語	共創機構
教育	P.11	—	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム	オンライン	9月頃 13:00-17:00	3.5	300名	日本語	ファカルティ・ディベロップメント 委員会
マネジメント	P.21	—	未定[SOGI(性的指向と性自認)に関するテーマで講演いただく予定]	豊中又は オンライン	9月上旬 (日時未定)	2	対面の場合 100名	日本語	人権問題委員会
マネジメント	P.21	○	コンプライアンス教育	オンライン	9月上旬～ 10月下旬	1	未設定	日本語	理学研究科
複数月開催									
研究	P.14	○	RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers	吹田	8-9月に 4回開催	1.5 x4回	20名	English	微生物病研究所
未定									
教育	P.11	—	障がいと大阪大学1～3	オンライン	未定	1 x3回	200名	日本語	人間科学研究科
研究	P.14	—	オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援	吹田	未定	1	未設定	日本語	附属図書館、 経営企画オフィス URA 部門
研究	P.14	○	研究成果(文科系)の発信(1)SCOPUS 論文	オンライン	未定	1	100名	日本語	人間科学研究科
マネジメント	P.21	○	コンプライアンス講習会	吹田	未定	1	50名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.21	○	コンプライアンス講習会	吹田	未定	1	50名	日本語/ English	工学研究科
マネジメント	P.22	○	工学研究科新任者研修	吹田	未定	6	30名	日本語	工学研究科
マネジメント	P.17	○	基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会(初任者FD)	豊中又は オンライン	未定	3	50名	日本語	基礎工学研究科
随時・定期開催									
教育	P.11	—	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム	オンライン	未定	3.5	未設定	日本語	ファカルティ・ディベロップメント 委員会
教育	P.11	—	コンサルティングサービス —授業改善などのための個別相談—	オンライン	随時受付	1	各回数 程度	日本語	全学教育推進機構 教育学習支援部
教育	P.12	○	FD研修会	吹田又は オンライン	隔月1回程度 (日時未定)	各回1	各回60名 程度	日本語	蛋白質研究所
教育	P.12	—	メディア授業講習会	オンライン	2021年4月1日～ 2022年3月31日	1.5	未設定	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.12	—	授業支援システム(CLE)入門講座	オンライン	2021年4月1日～ 2022年3月31日	1.5	未設定	日本語	サイバーメディアセンター
教育	P.12	—	授業支援システム(CLE)応用講座	オンライン	2021年4月1日～ 2022年3月31日	1.5	未設定	日本語	サイバーメディアセンター
研究	P.14	○	ISTランチセミナー	吹田又は オンライン	毎週1回程度 12:00-13:00	各回1	各回15名	日本語	情報科学研究科
研究	P.15	○	不正防止について	オンライン	4月中旬頃～ (適宜)	0.33	未設定	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	アドバンストセミナー	吹田又は オンライン	毎月1回 (8-3月を除く): 16:00-17:00	各回1	未設定	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	微研集談会	吹田又は オンライン	毎月第4火曜日 (8-12月を除く): 16:00-17:00	各回1	未設定	日本語/ English	微生物病研究所、 免疫学フロンティア研究センター
研究	P.15	○	蛋白研コロキウム	吹田又は オンライン	隔月1回程度 (日時未定)	各回0.5	各回60名	日本語	蛋白質研究所
マネジメント	P.21	○	コンプライアンス講習会	オンライン	未定	1	未設定	日本語	工学研究科
マネジメント	P.21	○	コンプライアンス講習会	オンライン	未定	1	未設定	日本語/ English	工学研究科



教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

オンラインビデオ教材作成法 Echo編

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)
浦田悠(全学教育推進機構 特任講師)

オンライン 4月3日 13:30-15:00、8月26日 13:30-15:00

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できるecho360社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。専用のアプリケーションとウェブカメラ(内蔵or外付け)を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用その他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材をつくりながら、授業等での活用方法をご検討いただきます。

*当日は(可能であればウェブカメラ付の)パソコン(WindowsもしくはMac)および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



未設定 1.5時間 日本語 オンライン

限定 理学研究科のみ対象

理学教育カリキュラム反省会

講師：中澤康浩(理学研究科 教授)
橋爪章仁(理学研究科 教授)

豊中 4月7日 13:30-16:00

〈キーワード〉新カリキュラム、プロジェクト教育、教育改革

〈概要〉・新カリキュラム及びプロジェクト教育に関する報告・議論
・大阪大学における教育改革等について議論
教員自身が授業内容や実施方法を振り返り、日頃感じられている問題点等について意見交換を行い、今後フィードバックすることを目的としております。

《問合せ先》：理学研究科学務係 [✉ ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp)》

150名 2.5時間 日本語 対面

アクティブ・ラーニングを取り入れた授業デザイン

講師：村上正行(全学教育推進機構 教授)

オンライン 4月9日 15:10-16:40、5月6日 13:30-15:00

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、アクティブ・ラーニングを正しく理解し、実践することができるようになることを目的として、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景や、授業にアクティブ・ラーニングを取り入れる方法を説明し、学生の主体的な学習活動を促す様々な教育技法を組み合わせアクティブ・ラーニング型授業をデザインするワークを行います。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



未設定 1.5時間 日本語 オンライン

オンラインビデオ教材作成法(初級編)

講師：権藤千恵(全学教育推進機構 特任研究員)

オンライン 4月15日 13:30-15:00

〈キーワード〉ビデオ講義、教材作成

〈概要〉前年度からのメディア授業実施をきっかけに、教員が自らビデオ教材を作成して授業を実施する機会が増えていきます。本セミナーでは、メディア授業向けの簡単なビデオ教材の作成ができるようになることを目的にセミナーを行います。具体的には、パワーポイントなどのアプリケーションに音声を入力する方法でビデオ教材を作成していきます。なお、セミナーはハンズオン形式で実施します。加えて、スライド作成の際の注意点や著作権への配慮や動画作成の際の機材選びについても情報共有を行います。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



50名 1.5時間 日本語 オンライン

外国人留学生に向けたキャリア・就職支援の方法

講師：魚崎典子(国際教育交流センター 特任准教授)

オンライン 5月10日 13:30-15:00

〈キーワード〉外国人留学生、キャリアサポート、就職支援

〈概要〉政府は「日本再興戦略2016」を提言し、外国人留学生の日本国内での就職率を現状の3割から5割に向上させるという目標を掲げました。その結果、産官学が連携した留学生就職支援の様々な試みが行われています。しかしながら世界に類を見ない日本の複雑な就活プロセスが留学生の日本での就職を一層困難にしています。本セミナーでは留学生に対して就職支援を行うにあたって直面する種々の問題とその解決策について学びます。

【目的】外国人留学生の日本での就職の現状と課題を把握し、外国人留学生にキャリアサポートを行う上で必要な基本的な知識を身につけることを目的とする。

《問合せ先》：国際教育交流センター [✉ career@ciee.osaka-u.ac.jp](mailto:career@ciee.osaka-u.ac.jp)》



20名 1.5時間 日本語 オンライン

ブレンデッド授業の設計法

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)

オンライン 5月11日 12:15-13:15、5月13日 12:15-13:15

〈キーワード〉ブレンデッド授業・学習

〈概要〉研修の目的；ブレンデッド授業を設計するために必要な基本的なポイントを理解する。
研修の概要；ブレンデッド授業とは、対面とオンラインを学習効果が最大限に高まるように組み合わせ、統合した授業法のことです。本研修では、その設計方法の基礎について学びます。尚、CLEの使用方法については扱いません。別途、サイバーメディアセンターが提供するCLE研修を受講ください。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



未設定 1時間 日本語 オンライン

オンラインビデオ教材作成法(中級編)

講師：権藤千恵(全学教育推進機構 特任研究員)

オンライン 5月13日 13:30-15:00

〈キーワード〉ビデオ講義、教材作成、講義スライド作成

〈概要〉前年度からのメディア授業実施をきっかけに、教員が自らビデオ教材を作成して授業を実施する機会が増えていきます。本セミナーでは、メディア授業向けの本格的なビデオ教材の作成について、講義スライドの効果的な作成とともにビデオ教材が完成できるようにすることを目的にセミナーを行います。具体的には、パワーポイントなどのアプリケーションを使って配色やアニメーションを効果的に使用した講義スライドの作成を行い、続いてスライド教材を用いてビデオ教材を作成していきます。なおセミナーはハンズオン形式で実施します。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》



25名 1.5時間 日本語 オンライン

※掲載内容は2月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式



教育能力 開発プログラム

グループ学習を授業に導入する

講師：西森年寿(人間科学研究科 教授)
大山牧子(全学教育推進機構 助教)



未設定 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 5月20日 15:10-16:40(大山)、8月25日 14:30-16:00(西森)

〈キーワード〉グループ学習、授業デザイン、教育技法

〈概要〉本研修ではグループ学習の研究や事例紹介を通して、授業目的に応じたグループ学習のデザインを考えることを目的とします。近年注目されるアクティブ・ラーニング型の授業で多く導入されるグループ学習には、様々な種類がありますが、学生の深い学びをもたらすためには、目的に応じた方法を導入することが重要です。自らの授業の中でどのように取り入れて良いのかお困りではないですか？本セミナーでは、大学の授業の中で実施され得る様々な種類のグループ学習と、その特徴を説明するとともに、授業の中で目的に応じてどのように導入するかを考えます。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

学生の心理

講師：石金直美(キャンパスライフ健康支援センター 准教授)

40名 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 5月27日 10:30-12:00

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉上記のテーマ(学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ)について講義形式で学びます。後半は模擬事例を用いてディスカッションや簡単なロールプレイを行います。本研修は、最近の学生の心理的特徴や心理的問題に対する理解を深め、よりよいコミュニケーションの取り方を身につけることを目的とします。コロナ禍の学生の困難についても理解を深めます。

《問合せ先》：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 [✉ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

オンライン教材をつかった研究倫理教授法入門

講師：池田光穂(CO デザインセンター 教授)



20名 2時間 日本語 オンライン

オンライン 6月9日 11:30-13:30

〈キーワード〉研究倫理、オンライン教育、教授法、学部共通教育

〈概要〉私は過去10年間にわたりウェブページで研究倫理入門 (<http://bit.ly/2lkkbNZ>) という情報提供をしており、他大学から講師の依頼が毎年あり、本学の大学院でも開講したり、英語版の集中講義を他大学で実践してきました。その間の経緯をお話して、簡単なワークショップを開催し、大阪大学の多くの教員が学部生向けに最低開講できるだけの履修プログラムの作り方について伝授します。是非お越しください。

《受講申込先》：<http://cscd.osaka-u.ac.jp/>》

《問合せ先》：全学教育推進機構等事務部(CO デザインセンター総務担当) [✉ zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

限定 工学研究科のみ対象

研究室不登校の学生へのアプローチ

講師：根岸和政(コンプライアンス室 講師)

吹田15名 1.5時間 日本語 対面/オンライン
オンライン20名

吹田 **オンライン** 6月17日 13:30-15:00

〈キーワード〉研究室不登校の要因、人間の行動原理、共感、レジリエンス、ストレス

〈概要〉研究室不登校に陥ると、孤立無援感に苛まれ復帰することが容易でないことから、早めの対処が望まれる。また、研究室の運営、チームワークにも支障をきたすばかりか、教職員の負担も増加する。この観点から基本的な対応法を紹介する。

《受講申込先》：コンプライアンス推進室 kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》

《問合せ先》：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室(根岸和政) [✉ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp)》

プロジェクトに基づく学際共創科目のデザインとその活用

講師：山崎吾郎(CO デザインセンター 准教授)



20名 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 6月23日 13:30-15:00

〈キーワード〉社会と知の統合、学際共創、プロジェクトに基づく学習、大学院高度教養教育

〈概要〉大阪大学では、2021年度より、DWAAとよばれる独自の教育制度のもと、「社会と知の統合」に向けた横断的な大学院教育が本格的に始まります。この研修では、本学で「社会と知の統合」に先駆的に取り組んできたリーディング大学院・超域イノベーション博士課程プログラムの活動とそこで得られた知見を紹介し、これから教育・研究をとおして社会課題への取り組みをはじめようとする大阪大学の教職員の方々に、学際共創プロジェクトの手法と意義についてお伝えするとともに、「社会と知の統合」の具体的なイメージを掴んでいただきます。

《受講申込先》：<http://cscd.osaka-u.ac.jp/>》

《問合せ先》：全学教育推進機構等事務部(CO デザインセンター総務担当) [✉ zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

ブレンデッド授業の評価

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)



未設定 1時間 日本語 オンライン

オンライン 7月13日 12:15-13:15、7月15日 12:15-13:15

〈キーワード〉ブレンデッド授業・学習

〈概要〉研修の目的；ブレンデッド授業を評価するために必要な基本的なポイントを理解する。
研修の概要；ブレンデッド授業とは、対面とオンラインを学習効果が最大限に高まるように組み合わせ、統合した授業法のことです。本研修では、その評価方法、とりわけオンラインでの評価方法について学びます。尚、CLEの使用方法については扱いません。別途、サイバーメディアセンターが提供するCLE研修を受講ください。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

限定 工学研究科のみ対象

自殺防止セミナー

講師：根岸和政(コンプライアンス室 講師)

吹田15名 1.5時間 日本語 対面/オンライン
オンライン20名

吹田 **オンライン** 8月4日 13:30-15:00

〈キーワード〉学生の自殺の主な原因、自殺に至る特徴、自殺を防止するためにできること

〈概要〉学生の自殺の原因・特徴を整理し、その対応策の具体的な方法を解説します。

《受講申込先》：コンプライアンス推進室 kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp》

《問合せ先》：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室(根岸和政) [✉ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp)》

シラバスの書き方

講師：大山牧子(全学教育推進機構 助教)



未設定 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 8月23日 13:30-15:00

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉学生の学びの質を高めるために、シラバスの作成法について理解することを目的とします。シラバスは授業の設計図であり、授業の出発点です。そのシラバスの記載は十分に学生の学習を促すものになっているでしょうか。外部評価においても、そして教員の個人業績評価においても、シラバスの重要性は高まっています。本セミナーでは、学生の自学自習を促すシラバス作成方法を身につけます。ぜひ新しいシラバスを使ってスタートしましょう。
*参加者はご自身のシラバス(どれか1つ)をご持参ください(ご自身のシラバスがない方は、専門領域に近い科目等のシラバスを1つご持参ください)。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

※掲載内容は2月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式



教育能力 開発プログラム

授業づくりワークショップ

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)
村上正行(全学教育推進機構 教授)
浦田悠(全学教育推進機構 特任講師)
根岸千悠(全学教育推進機構 特任助教)
楠本真二(全学教育推進機構／情報科学研究科 教授)



4~16名 20時間 日本語 オンライン

オンライン 8月30日、31日 各日10:00-18:00

〈キーワード〉コースデザイン、学習者中心、シラバス、クラスデザイン、マイクロティーチング

〈概要〉本ワークショップでは、学習者中心の授業の設計方法を学んだうえで、ご自身のシラバスや授業のブラッシュアップを行います。今年度初めてオンライン授業を実施することとなった方も多いと思います。対面授業をどのようにオンライン授業に移行していけば良いのか？オンライン授業と対面授業をどのように組み合わせたら良いのか？今回の授業づくりワークショップでは、通常の内容に加え、オンライン時代の授業づくりを検討します。専門家からのフィードバックをもらい、同じ悩みや不安を抱えた教員と改善のアイデアを練ることで、授業のさらなる質向上を目指します。単発で開催されているシラバス作成法、講義法、アクティブ・ラーニング、学習評価、ルーブリック評価を集中的に学ぶことができるという点で効率的です。

- * パソコン及び改善したいシラバスをご準備ください。
- * 全課程修了後に修了証が授与されます。
- * 途中からの参加・退出はご遠慮ください。

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/cdws-workshop.html》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

大学におけるカルト問題

講師：太刀掛俊之(キャンパスライフ健康支援センター 教授)

40名 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 9月2日 13:30-15:00

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉本研修では、大学におけるカルト問題の現状とその背景について把握し、学生に対する予防とともに、問題が生じた場合の対応について理解を深めることを目的とします。講義形式で実施するとともに、担当講師と意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

《問合せ先》：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 [✉ campuslifekou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

学生の不適応

講師：水田一郎(キャンパスライフ健康支援センター 教授)

40名 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 9月9日 10:30-12:00

〈キーワード〉心理的問題、環境ストレス、精神疾患、発達障がい

〈概要〉まず、上記テーマ（学生の陥りやすい不適応の領域、学生に多い精神疾患や発達障がいの特徴と対応）について講義形式で学ぶ。その後、ディスカッション形式でテーマについての理解を深める。
（目的）本研修は、学生がキャンパスライフで陥りやすい不適応とその背景、対応について、基本的な知識を身につけることを目的とする。

《問合せ先》：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 [✉ campuslifekou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

障がい学生支援

講師：望月直人(キャンパスライフ健康支援センター 准教授)
前田由貴子(キャンパスライフ健康支援センター 特任助教)
安永正則(キャンパスライフ健康支援センター 助教)

100名 1.5時間 日本語 オンライン

オンライン 9月16日 12:00-13:30

〈キーワード〉合理的配慮

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として、本学におけるコンプライアンスとして障がい学生支援に求められる知識や障がいのある学生への基本的対応を身につけることを目的とする。ダイバーシティが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材の存在が前提となる大学の今後のあり方についても考える機会としたい。

《問合せ先》：キャンパスライフ健康支援センター庶務係 [✉ campuslifekou-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:campuslifekou-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム

講師：未定

ライブ配信 300名 3.5時間 日本語 オンライン (後日受講未設定)

オンライン 9月頃 13:00-17:00

オンデマンド配信予定有

〈キーワード〉ブレンデッド教育、メディア授業、新型コロナウイルス対応、アクティブ・ラーニング、教育改革、等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。

1. 基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として、ブレンデッド教育等に関する情報提供を行います。
2. グループセッション（主な研修テーマ：ブレンデッド教育の模索と課題 等）

《問合せ先》：教育・学生支援部教育企画課総務係 [✉ gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

障がいと大阪大学1～3

講師：未定

200名 1時間×3回 日本語 オンライン

オンライン 未定

〈キーワード〉障害、大阪大学

〈概要〉大阪大学における障がい者との共生について、障がい学生支援のみならず、学内外における様々な支援体制や共有しておくべき事柄についてシリーズで学ぶ。研修を通して、学生、教職員が障がい者と共生するキャンパスに向けて適切な行動をとれるようになることを目的とする。

《問合せ先》：人間科学研究科庶務係 [✉ jinka-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:jinka-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

コンサルティングサービス —授業改善などのための個別相談—

講師：全学教育推進機構 教育学習支援部教員

各回 数名程度 1時間 日本語 オンライン

オンライン 随時受付

〈キーワード〉授業デザインのプロセス、学生の学習、教育内容、学習成果、教授法、学習評価

〈概要〉授業デザインやシラバス、教授法、評価など、教育に関する様々なご相談を承っております。ご要望に応じて、改善策を練るご支援や情報提供、ご提案をいたします。お気軽に申込先のウェブホームからご連絡ください。

【これまでのご相談例】・リアルタイムのオンライン授業でグループ学習を実施したい

- ・タブレット端末やスマートフォンを活用した授業をしたい
- ・英語での講義を担当することになったが、不安である
- ・研究室をうまくマネジメントできない

《受講申込先》：https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/consulting.html》

《問合せ先》：全学教育推進機構 教育学習支援部 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

※掲載内容は2月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式



教育能力 開発プログラム

限定 蛋白質研究所のみ対象

FD研修会

講師：各回によって異なる

吹田 オンライン 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ：蛋白質研究所 庶務係》 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》



メディア授業講習会

講師：白井詩沙香(サイバーメディアセンター 講師)
浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)
竹村治雄(サイバーメディアセンター 教授)



オンライン 2021年4月1日～2022年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、メディア授業のコース作成方法の修得を目的に、授業支援システムCLEおよび各種システムの活用方法を学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。※事前の受講申込不要

《問合せ：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 [✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

授業支援システム (CLE) 入門講座

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)他



オンライン 2021年4月1日～2022年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。※事前の受講申込不要

《問合せ：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 [✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》

授業支援システム (CLE) 応用講座

講師：浦西友樹(サイバーメディアセンター 准教授)他



オンライン 2021年4月1日～2022年3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育学習支援情報システム、教育情報化

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。※事前の受講申込不要

《問合せ：サイバーメディアセンター 情報メディア教育研究部門》 [✉ ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp](mailto:ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp)》



限定 産業科学研究所のみ対象

総合解析センター説明会 (機器分析講習会)

講師：鈴木健之(産業科学研究所 准教授)
他 9名

吹田 4月13:45-16:45

〈キーワード〉分析法、装置の原理、適用範囲、予約法

〈概要〉まず分析の基本となる、装置の分類についての概要を学びます。その後、種類別に測定法の原理と測定装置の仕組み、研究への応用例について学びます。また、測定装置を利用する際の利用方法、共同利用するうえでのマナーおよび安全上の注意について学びます。
本研修は、機器分析測定法の初学者が科学研究を行う上で必要な分析装置の種類と応用について必要な基本的な知識を身に付けることを目的とします。

《問合せ：産業科学研究所 総合解析センター》 [✉ cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp)》



研究室の教育指導

講師：佐藤浩章(全学教育推進機構 准教授)
橋爪章仁(理学研究科 教授)



オンライン 7月8日 15:00-17:00、7月14日 15:00-17:00

〈キーワード〉研究室教育、研究室マネジメント、研究室理念

〈概要〉ゼミや研究室での論文指導などはうまくいっているでしょうか。研究室教育は日本が誇る大学教育の方法です。徒弟制を基盤としたこの教育方法をうまく実施するには、徒弟制教育の特徴を理解し、研究室の理念(ラボ・ポリシー)の共有、年間に渡る教育イベントの設計など、いくつかのポイントがあります。阪大での優れた研究室教育の事例などを通して、自身の所属する研究室へどう実装するかを考えます。研究室教育をうまく実施するために、効果的な研究室のマネジメント方法を身につけることが目的です。

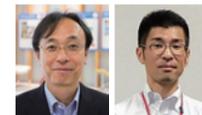
《受講申込先： https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/》

《問合せ：全学教育推進機構 教育学習支援部》 [✉ tlsc@celas.osaka-u.ac.jp](mailto:tlsc@celas.osaka-u.ac.jp)》

産学共創により研究成果を社会実装するには！

講師：<共創機構>

北岡康夫(機構長補佐/イノベーション戦略部門長)
奥田英一郎(イノベーション戦略部門 知財戦略室長)
神谷俊行(共同研究支援室長)
加藤浩介(社会学共創部門 副部門長)
<ゲストスピーカー>
玉井克人(医学系研究科 教授)
谷口正輝(産業科学研究所 教授)
水原善史(大阪大学ベンチャーキャピタル(株)投資部第1グループリーダー)



オンライン 9月21日、28日 各日16:00-18:00

〈キーワード〉産学共創、研究成果の社会実装、ベンチャー起業、知的財産、企業との共同研究

〈概要〉産学共創により研究成果を社会実装するために必要な基本知識として、ベンチャー起業および知的財産戦略の重要性、企業等との産学共創の進め方とリスクマネジメント、また産学共創に関わる各種契約書の基礎知識と留意点について学びます。

《受講申込先： <https://my.osaka-u.ac.jp/admin/sangaku/ccb/shinnin>》

《問合せ：共創推進部 共創企画課 総務係》 [✉ kyousou-kikaku-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-kikaku-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

※掲載内容は2月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドイ」(FD関係)にてご確認ください。





研究能力 開発プログラム

限定 微生物病研究所のみ対象

RIMD FD seminar series: Academic English for RIMD Researchers

講師：Neville Greening(言語文化研究科 非常勤講師)

吹田 8～9月の間に4回

〈キーワード〉研究成果の情報発信、Academic English

〈概要〉英語による研究プレゼンテーションについて基礎から学びます。またプレゼンテーションスキルだけでなく、質疑応答も行い、英語によるコミュニケーションや対応のノウハウも学ぶことができます。(新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、オンライン形式での実施に変更となる可能性があります。)

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》
✉ kikaku@biken.osaka-u.ac.jp》



オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

吹田 未定

〈キーワード〉オープンアクセス、電子ジャーナル、論文掲載料、ハゲタカジャーナル、機関リポジトリ、大阪大学オープンアクセス方針

〈概要〉電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料（APC）を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、いわゆるハゲタカジャーナルの出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向を学ぶ。加えて、大阪大学におけるオープンアクセスへの支援内容を理解する。

《受講申込先：https://www.library.osaka-u.ac.jp/》

《問合せ先：附属図書館 図書館企画課 企画係》
✉ kikaku@library.osaka-u.ac.jp》



限定 人間科学研究科のみ対象

研究成果（文科系）の発信（1）SCOPUS論文

講師：未定

オンライン 未定

〈キーワード〉出版、人間科学系、SCOPUS

〈概要〉研究成果を論文として公刊することは研究者の主要な活動の1つであり、その評価はSCOPUSの各指標によって判断されることがある。本研修では、SCOPUSにより頻りに掲載されるために抑えておくべき事柄を経験者から学び、受講者のSCOPUS登録媒体への公刊の機会が増えることを目的とする。

《問合せ先：人間科学研究科庶務係》
✉ jinka-syomu@office.osaka-u.ac.jp》



限定 情報科学研究科のみ対象

IST ランチセミナー

講師：大阪大学大学院情報科学研究科
准教授、助教(特任も含む)の教員

吹田 **オンライン** 毎週1回程度 12:00-13:00

〈キーワード〉研究力向上、融合研究

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》
✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp》



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センターのみ対象

不正防止について

講師：岡田雅人(微生物病研究所 所長・教授)

オンライン 4月中旬頃～(適宜)

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC諸施設の利用に関するオリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReCに所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー（オンデマンド）が行われる。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務つける。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とする。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》
✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》



限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、医学系研究科のみ対象

アドバンストセミナー

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 毎月1回(8月、3月を除く) 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催する。基本的に月1回。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とする。※事前の受講申込不要

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》
✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》



限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター、医学系研究科のみ対象

微研集談会

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 毎月第4火曜日(8,12,1月を除く) 16:00-17:00

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行う。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持つ。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーである。※事前の受講申込不要

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》
✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》



限定 蛋白質研究所のみ対象

蛋白研コロキウム

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 隔月1回程度(日程未定)

〈キーワード〉蛋白質、構造生物学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質および蛋白質に関連した異分野融合研究の最新動向を知ることにより、所内研究者の研究に活かすことを目的として、主に所内教員の最新研究に関する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》
✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》



※掲載内容は2月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

「オンライン市民参加型イベント」運営の技法

講師：八木絵香(CO デザインセンター 教授)

オンライン 5月25日 13:30-15:00

〈キーワード〉社会学連携、アウトリーチ、市民参加、双方向型ワークショップ

〈概要〉COデザインセンター学術融合部門では、気候変動、感染症、再生医療、ゲノム編集、原子力等の科学技術をめぐる課題について、一般市民と研究者が集い、共に考え、問題意識を共有する場づくり(双方向型のワークショップ)を行っています。2020年度は、それまで対面で行ってきたこれらの試みを、オンラインに展開して実施してきました。この研修ではそれらの経験を踏まえ、一般市民が参加するイベントをオンラインで実施する際の技法についての座学と演習を行います。専門分野によらず、一般市民向けのイベントを開催してみたいと思う方にお勧めします。

《受講申込先》：<http://cscd.osaka-u.ac.jp/>》

《問合せ先》：全学教育推進機構等事務部(CO デザインセンター総務担当) [✉ zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:zenkyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp)》

- 20名
- 1.5時間
- 日本語
- オンライン

阪大ブランドの発信地としての大学博物館

講師：宮久保圭祐(総合学術博物館 准教授)
橋爪節也(総合学術博物館 教授)



- 15名
- 1.5時間
- 日本語
- 対面

豊中 6月11日 15:10-16:40

〈キーワード〉大学博物館、研究、教育

〈概要〉大阪大学総合学術博物館では、展示を通じて大学の源流や大阪大学で行われた研究を社会に発信し、また展覧会・サイエンスカフェを研究教育のアウトリーチや成果発表の場として活用している。本プログラムではアウトリーチや成果発表の場を通して、阪大ブランドを社会に発信する方法を考える。
※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、研修形式や募集定員等を変更する場合があります。

《問合せ先》：共創推進部博物館・適塾記念センター事務室総務係 [✉ kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kyousou-museum-tekijuku@office.osaka-u.ac.jp)》

研究成果を発信する方法 ー研究広報、日本と海外の比較ー

講師：坂野上淳(免疫学フロンティア研究センター 特任教授)



- 90名
- 1.5時間
- 日本語
- オンライン

オンライン 6月24日 15:00-16:30

〈キーワード〉研究広報、プレスリリース、PIO

〈概要〉大阪大学の研究成果がしばしばメディアに取り上げられますが、それらはどのような手順で掲載・放送に至るのでしょうか？研究者はどのように情報発信するのが自らの研究を効果的にアピールできるのでしょうか？日本と海外の比較(日本の特殊性)も含め伝えます。

《問合せ先》：坂野上淳(免疫学フロンティア研究センター企画室) [✉ j-sakano@ifrec.osaka-u.ac.jp](mailto:j-sakano@ifrec.osaka-u.ac.jp)》

新入教職員安全衛生講習会

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 准教授)他

オンライン 4月頃

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条(雇入れ時等の教育)に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てることを目的としている。

《問合せ先》：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

- 未設定
- 2.25時間
- 日本語
- オンライン

限定 基礎工学研究科のみ対象

基礎工学部・基礎工学研究科初任教員研修会(初任者FD)

講師：基礎工学部長・基礎工学研究科長
教育企画推進室学術教務委員長
学生委員会委員長
ハラスメント防止委員会委員長
研究企画推進室長
事務部

- 50名
- 3時間
- 日本語
- 対面/オンライン

豊中 **オンライン** 未定(4~5月開催予定)

〈キーワード〉説明、配付資料、基礎工学部・基礎工学研究科、教育、研究、学生支援、ハラスメント防止、事務手続き

〈概要〉「基礎工学部・基礎工学研究科の沿革と現在」、「研究企画推進について」、「基礎工学部・基礎工学研究科の教育」、「基礎工学部・基礎工学研究科の学生支援」、「ハラスメント防止の重要性」、「基礎工学研究科における事務手続きについて」という6つの講義において講師が説明を行い、最後に質疑応答を行います。基礎工学部・基礎工学研究科の教育を担当することになった教員等を対象に、大阪大学、基礎工学部、基礎工学研究科の現状についての認識を深めるとともに、大学教育を担当する教員として、教育に関する力を高めることを目的とします。

《問合せ先》：基礎工学研究科人事係 [✉ ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp)》

限定 産業科学研究所のみ対象

産研安全講習会 (午前：バイオセイフティー講習会、午後：安全講習会)

講師：バイオセイフティー担当教員と技術職員

吹田 4月下旬または5月上旬

〈キーワード〉安全管理、説明

〈概要〉前半は産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。後半は産研に新しく来られた学生・教職員全員を対象に安全衛生講習を行います。

《問合せ先》：産業科学研究所 技術室 [✉ haneoka@sanken.osaka-u.ac.jp](mailto:haneoka@sanken.osaka-u.ac.jp)》

- 50名
- 4時間
- 日本語/English
- 対面

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

オンライン 5月中旬~下旬

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)

〈概要〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の使用方法(化学薬品の登録と集計)を習得することを目的としている。また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深める。

《問合せ先》：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

- 未設定
- 1時間
- 日本語
- オンライン



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。(FDポイントの確認方法はP.3をご参照ください)

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉 実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉 実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 0.83時間 日本語 オンライン

非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉 化学薬品

〈概要〉 非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。非化学系(生物系・物理系等)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 1.5時間 日本語 オンライン

詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本仁(安全衛生管理部 教授)

オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉 化学薬品

〈概要〉 化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。また、薬品等の廃棄に関連する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 1時間 日本語 オンライン

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター吹田分室編)

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉 高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉 低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 1.5時間 日本語 オンライン

高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (低温センター豊中分室編)

講師：竹内徹也(低温センター 助教)

オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉 高圧ガス・液体寒剤

〈概要〉 低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及び低温センターの利用法について講習します。また高圧ガスや高圧ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。高圧ガス・液体寒剤の取扱い及び注意点について習得することを目的とする。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 1.5時間 日本語 オンライン

大阪大学高圧ガス管理支援システム(OGCS)利用講習

講師：中本将嗣(低温センター 助教)

オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉 高圧ガス管理支援システム(OGCS)

〈概要〉 高圧ガスを取り扱う教職員で大阪大学高圧ガス管理システム(OGCS)を使用する教職員が使用方法を習得する。部局で運用が開始された大阪大学高圧ガス管理システム(OGCS)の使用方法について説明します。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 1時間 日本語 オンライン

電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬英毅(安全衛生管理部 准教授)

オンライン 5月中旬～下旬

〈キーワード〉 電気コンセント

〈概要〉 実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とする。

《問合せ先：総務部安全衛生管理室推進第一係 [✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 1時間 日本語 オンライン

限定 蛋白質研究所のみ対象

蛋白研安全講習会

講師：未定

吹田 **オンライン** 5月頃(日程未定)

〈キーワード〉 安全管理

〈概要〉 本研究所において実験に従事する学生・教職員を対象に、遺伝子組換え実験、動物実験、RI実験などに関する法令を理解すること、および知識に基づく安全かつ適切な実験物管理法を習得することを目的として講習を行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 [✉ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp)》

150名 1時間 日本語 対面/オンライン

令和3年度大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：西尾章治郎(大阪大学 総長)

金田安史(大阪大学 理事)

田中敏宏(大阪大学 理事)

奈良哲(大阪大学 理事)

吹田 6月15日(時間未定)

〈キーワード〉 ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社会学共創、情報セキュリティ、産学共創、男女協働推進、研究推進、人事・労務

〈概要〉 新任教職員に対して、役員等による講義を行います。

本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、新任教職員として、大学に課せられたコンプライアンス等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、もって、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部人事課職員係 [✉ soumu-jinji-syoku1@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-jinji-syoku1@office.osaka-u.ac.jp)》

未設定 2時間 日本語 対面

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月5日時点の情報です。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対面での研修が困難となった場合、プログラムを中止、もしくは、オンライン形式での実施へ変更となる可能性があります。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

限定 理学研究科のみ対象

理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

講師：未定

豊中 **オンライン** 6月下旬～7月上旬頃

〈キーワード〉 ハラスメント防止

〈概要〉 理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行う。
ハラスメント防止のための意識啓発に資することを目的とする。

《問合せ先：理学研究科人事係 [✉ ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp](mailto:ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp)》



未定 [障がい者に関するテーマで講演いただく予定]

講師：今中博之

(社会福祉法人 素王会 理事長、アトリエ インカブ クリエイティブディレクター)

吹田 **オンライン** 7月上旬(日時未定)

〈キーワード〉 人権問題、障がい者問題、ダイバーシティ&インクルージョン

〈概要〉 未定 (ダイバーシティ&インクルージョンに関するテーマで講演いただく予定)

《問合せ先：総務部総務課法規係 [✉ soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp)》



限定 工学研究科のみ対象

ハラスメント防止セミナー (加害者とされないために編)

講師：根岸和政(コンプライアンス室 講師)

吹田 **オンライン** 7月7日 13:30-15:00

〈キーワード〉 他者視点、感情のコントロール、ストレス、加害者とされないために

〈概要〉 相手に対する言動がどのような影響を与えているのか、他者視点に立つことの重要性 ハラスメントの可能性を軽減するための感情のコントロール法 ハラスメントの被害に遭うことを回避する方法 ハラスメントの被害を受けた時の対処法について、解説・演習を行う。

《受講申込先：コンプライアンス推進室 [✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp)》

《問合せ先：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室(根岸和政) [✉ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp)》



限定 工学研究科のみ対象

ハラスメント防止セミナー (被害者・傍観者とならないために編)

講師：根岸和政(コンプライアンス室 講師)

吹田 **オンライン** 7月14日 13:30-15:00

〈キーワード〉 他者視点、感情のコントロール、ストレスケア、被害者・傍観者とならないために

〈概要〉 ハラスメントに遭う可能性を軽減するための感情のコントロール法 ハラスメントの被害に遭うことを回避する方法 ハラスメントの被害を受けた時の対処法について、解説・演習を行う。

《受講申込先：コンプライアンス推進室 [✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp)》

《問合せ先：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室(根岸和政) [✉ negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:negishi@compliance.eng.osaka-u.ac.jp)》



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

未定 [SOGI (性的指向と性自認) に関するテーマで 講演いただく予定]

講師：未定

豊中 **オンライン** 9月上旬(日時未定)

〈キーワード〉 人権問題、SOGI

〈概要〉 未定 [SOGI (性的指向と性自認) に関するテーマで講演いただく予定]

《問合せ先：総務部総務課法規係 [✉ soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp](mailto:soumu-soumu-houki@office.osaka-u.ac.jp)》



限定 理学研究科のみ対象

コンプライアンス教育

講師：専攻長

附属施設長

オンライン 9月上旬～10月下旬

〈キーワード〉 研究倫理、研究費不正使用防止、コンプライアンス教育

〈概要〉 公的研究費の不正使用防止、教員発注制度についての動画を視聴する。公的研究費の運営・管理に関わる全ての構成員に対して、自身を取り扱う公的研究員の使用ルールやそれに伴う責任、自らのどのような行為が不正使用に当たるのかなどを理解してもらい、不正使用を事前に防止する。

《問合せ先：各専攻担当者》



限定 工学研究科のみ対象

コンプライアンス講習会

講師：青木伸一(工学研究科 教授)

吹田 **オンライン** 未定
オンデマンド配信予定有

〈キーワード〉 コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止

〈概要〉 新任教職員に対して50分程度の講義ののち、質問を受け付けます。また、着任3年目以降の再受講者はオンライン画像での受講でも可能とします。
公的研究費の不正使用防止を徹底することに加えて、工学研究科におけるコンプライアンスの取組みを理解してもらうことを目的とします。

《問合せ先：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室 [✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp)》



限定 工学研究科のみ対象

コンプライアンス講習会

講師：青木伸一(工学研究科 教授)

吹田 **オンライン** 未定
オンデマンド配信予定有

〈キーワード〉 コンプライアンス、公的研究費、不正使用防止

〈概要〉 新任教職員に対して50分程度の講義ののち、質問を受け付けます。また、着任3年目以降の再受講者はオンライン画像での受講でも可能とします。
公的研究費の不正使用防止を徹底することに加えて、工学研究科におけるコンプライアンスの取組みを理解してもらうことを目的とします。

《問合せ先：工学研究科 総務課コンプライアンス推進室 [✉ kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp](mailto:kou-soumu-compliance@office.osaka-u.ac.jp)》



※掲載内容は2月5日時点の
情報です。
新型コロナウイルス感染症の
感染状況により、対面での
研修が困難となった場合、
プログラムを中止、もしくは、
オンライン形式での実施へ変更
となる可能性があります。
最新情報は各関係部署にお
問い合わせいただくか、学内
ポータルサイト「マイハン
ダイ」(FD 関係)にてご
確認ください。

